

# もっとアジアへ そして世界へ

～30年目の国際関係学部、カリキュラムが変わります。～

## 1 多様なアジアを多様な方法で学ぶ

- ・地域言語基礎を「言語文化講座」に再編。
- ➡従来の9言語に「英語」を加え10言語とする。  
言語に特化した魅力的な現地研修。短期留学や長期の留学により磨きをかける。
- ・それぞれの興味関心に応じてアジア地域を学べる多彩なメニュー
- ➡アジア4地域の周辺・関連地域の科目をさらに充実 (日本、オセアニア、中央アジア、トルコ、アフリカなども学べる)



## 2 主体的な学び (アクティブ・ラーニング) へ

- ・大教室で行う必修科目を大幅に削減。
- ・テーマ研究や特殊講義により、少人数制の演習やPBL授業メニューが盛りだくさん
- ➡必修ゼミのほかに、複数の演習型の授業に参加することができる。
- ・「学生による企画・参加・実行型の活動」を促すDACIX制度による課外活動の単位化



## 3 グローバル人材と社会人基礎力の育成をめざす4年間を通じた体系的なキャリア教育

- ・キャリアデザインを考える  
チュートリアル (1年後期)
- ➡キャリア形成論 I (2年)
- ➡キャリア形成論 II (3年後期)
- ・アジアで修行
- ➡インターンシップ・イン・アジア I・II
- ・現場を知る→企業と雇用、NGO活動論、自治体経営論、国際観光論、
- ・スキルを高める
- ➡TOEIC対講座 I・II、情報 I・II、世界遺産講座、ディベート入門・基礎、問題解決学入門・基礎
- ・社会人基礎力から安全教育まで
- ➡キャリア特殊講義の多彩なメニュー  
(科目名称は予定です)